

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 CISPR F 作業班(第 27 回)

議事要旨

1 開催日時：令和 6 年 11 月 29 日（金）13:00～14:15

2 開催場所：Web 会議開催 (Cisco Webex)

3 出席者（敬称略）

【構成員】 山下主任 (JET)、高岡主任代理 (日本照明工業会)、井上構成員 (東陽 EMC)、大竹構成員 (日本照明工業会)、菅野構成員 (NTT-AT)、北山構成員 (JQA)、中野構成員 (JEMA)、永野構成員 (ARIB)、橋本構成員 (NHK)、前川構成員 (ダイキン)、山中構成員 (NICT)

【関係者】 雨宮関係者 (VCCI)、久保田関係者 (TELEC)

【事務局】 総務省：今泉電波監視官、郷藤電磁障害係長 (記)

4 議事概要

(1) CISPR F 小委員会 総会 審議結果について

山下主任より資料 27-1 に基づき説明が行われた。特に質疑は無かった。

(2) 電波利用環境委員会 報告書(案)について

山下主任より資料 27-2-1 及び 27-2-2 に基づき説明が行われた。質疑応答は以下のとおり。

高岡主任代理：第 7 版修正 1 と審議状況ではなっているが、審議結果では第 8 版となっている。変更ボリュームが多いためと追記すべきではないか。

前川構成員：プロジェクトとしては第 8 版で登録されているので、審議状況も第 8 版と記述してはどうか。

山下主任：前回作業班の対処方針審議時は、DA に記載があったとおり、第 7 版修正 1 としていたが、修正して問題ないか。

事務局：説明しなくとも、最新の情報として第 8 版と記載して問題ない。

山下主任：では、審議状況の記載を第 8 版に修正する。

山中構成員：電子レンジの移管について、一部業務用の線引きは明確になったのか。

山下主任：実際はクラス B のリミットを移管するという内容である。

山中構成員：資料には変更なしと書いてあるが、CISPR 11 の内容がそのまま移管されるということか。

山下主任：用語は CISPR 14-1 に合わせるが、技術的な要求は変えないとなっている。

山中構成員：B 小委員会で 1～18GHz を見直そうという TF が動こうとしており、別々に見直すとなると複雑な話となるが、CISPR 14-1 は技術的には今後も変えないという

ことで良いか。

山下主任 : 1~18GHz を見直すとはどういう内容か。

山中構成員 : 電子レンジの測定法が分かりにくいので修正しようという動きである。齟齬が無いよう、情報交換をした方が良い。CISPR/F/WG1 のコンビーナである Deter 氏も TF に入って、12 月から議論が開始される予定である。

山下主任 : 承知した。

山中構成員 : 新しい規格 CISPR 14-3 でクラス A の許容値を入れるとのことだが、F 小委員会は家庭用機器が対象であり、所掌と矛盾するのではないか。

山下主任 : 同じ商品名でも大きな工業地帯専用のものがある。そういうものも CISPR 14-1 で扱うのか扱わないのかという点が WG1 でここ数年議論されており、前回会合の議論で CISPR 14-1 はクラス B の許容値であり、クラス A の許容値を導入するか、新しい規格を作るかという話であった。WG で議論中であったが、総会の議題に上がってきた。形が決まっていないので、まだまだこれからの議論であるが、タイトルだけ総会に上がってきた。

山中構成員 : 承知した。

前川構成員 : 補足すると、NP を出すときにタイトルを確定させないといけないということで急遽総会に上がってきた。ただ、適用範囲の定義を確定されないといけないと総会で指摘があったところである。

井上構成員 : 規格の名称変更と小委員会の名称変更の 2 つがあり、小委員会の名称変更の Q 文書が出されたということだが、規格の名称変更はどうなるのか。

高岡主任代理 : Q 文書において、規格名称を変更したので、小委員会の名称を変更するとなっている。

井上構成員 : CISPR 総会で小委員会の名称変更が最終的に決まるのか。

高岡主任代理 : 失礼した。F 小委員会の Q 文書と混同していた。

前川構成員 : CISPR/1550/Q は小委員会の名称変更のみ書かれている。

山下主任 : F 小委員会では変更が承認されたが、CISPR 総会で承認されるということか。

前川構成員 : 文書としては CISPR の Q 文書なので、そうなると思われる。

井上構成員 : 規格の名称変更について、大きなインパクトがあるが、どう進めるのか。

前川構成員 : おそらく CISPR の承認が必要かと思われる。

山下主任 : 規格の名称変更は、F 小委員会総会で承認されたのではないか。

前川構成員 : F 小委員会は変更案がまとまったという形で、CISPR 総会で最終承認されと思われる。

高岡主任代理 : IEC の HP では規格名称が既に変更されている。

山下主任 : F 小委員会では規格の名称が変更されたから小委員会の名称を変更するという話であったので、規格の名称変更手続きは特に無かった。

井上構成員 : そうであれば報告書の記載を修正すべきである。

前川構成員 : 修正された規格名称の IEC の HP とはどこか。

高岡主任代理 : F 小委員会の Publication のところである。F 小委員会の名称は変わっていない。

井上構成員 : 確認すると第 6 版で既に electric が追加されている。今回変更使用としたのは規格名称ではなく、小委員会の名称ではないか。

高岡主任代理 : F 小委員会の Q 文書では規格名称を変更したから F 小委員会名称を変えるという内容である。

井上構成員 : CISPR 14-1 ではなく 14-2 のことか。

高岡主任代理 : 然り。

山下主任 : 過去の CISPR 14-2 は既に electric が入っている。CISPR 15 も electric が既に入っているので、規格名が変わったわけではなく、規格名に合わせて F 小委員会の名称を変えると理解した。委員会報告の内容を修正する。

前川構成員 : F/869/INF は規格名称修正について言及しているが、実際には変わっていない。総会のアジェンダ見ると小委員会の名称変更だが、F/869/INF の内容で混乱したと思われる。

(3) その他

特段の意見なし。

(以上)